

# 新時代のキャリアコンサルタント ～その使命と責務～

臨床心理学・カウンセリング心理学の立場から

駿河台大学 心理学部 永作 稔

投薬・通入院治療

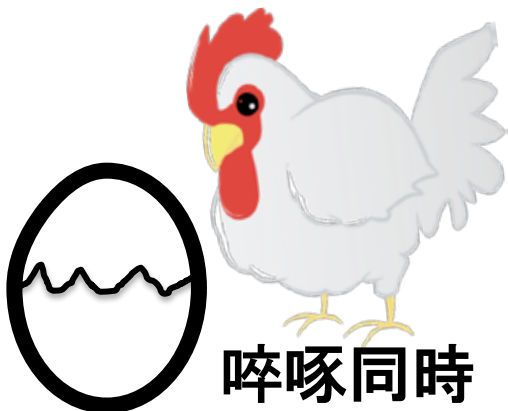
医療行為

心理療法

カウンセリング

コンサルテーション

専門的対人支援行為



啐啄同時

精神科医  
心療内科医

臨床心理士  
カウンセラー

キャリア  
コンサルタント

協働・相互リファー

精神的健康度や介入のスタンス、支援ニーズなど、多側面でグラデーションがある

キャリア領域における医療を含む支援のグラデーションモデル図

## できないことはやらないという原則



(キャリアコンサルタントは)パーソナル／メンタルヘルスの問題は別の専門家にリファーして、自分が扱うべきではない。

しかし、「自分のできること(だけ)をする」という考えは  
**対人支援職が本来果たすべき大事な機能や役割**  
までも軽視することにつながってはいないだろうか？

- 相手の役に立つこと

- そのためには

  - ➡「主訴を引き出し、理解すること」が必要

- そのためには

  - ➡「人とつながる力（ラポール形成の力）」が必要

たとえば

「上司にも、家族にも言えなかったけど・・・、なぜかあなたには話せた、話したくなった」と相談者が感じられるような

**人間関係構築力こそ、対人支援職の本来的機能・役割**

ひとりよがりの支援

役に立つ支援

相互関係に基づく支援

役に立つ支援

相互関係に  
基づく支援

役割を見極めようとする態度

主訴を引き出そうとする態度

人とつながる力

問いかける力

①ラポール形成の力  
(対相談者)

②連携する力  
(対支援者)

①データを集める質問

②診断的質問

③対決的質問

相手への敬意

限界の自覚

無知の知

ひとりよがりの支援

一方的な決めつけ  
1up欲求の無自覚

カウンセラーに求められる  
基本的態度の構造(永作, 2016)

- キャリアコンサルタントは(専門的)対人支援職であり、カウンセリングの素養が求められる
- 役に立つ支援とは相互関係、互恵的關係に基づくものである
- 相談者は職務遂行上のビジネスパートナー
- 個人的経験に基づく決めつけはNG
- 「教えたい」、「助けたい」、「役に立ちたい」という支援者側の欲求から1up-1down關係を作らないことが重要